

「中町祇園山車」伝統芸能存続事業



取組地域：姫城地区

取組年度：令和6年度

事業主体：姫城地区まちづくり協議会

事業費：1,589,500円（基金活用額 1,589,000円）

問合せ：☎46-2603

課題・取組の概要

- 姫城地区の伝統行事である「祇園山車」は、現在、中町と上町のみとなったが、中町は少子化、保存会の方々の高齢化が進み、活動休止中となっている。
- 山車の老朽化も進んでいる状況である。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 山車が全面改修されたことで、安心して操作できるようになった。
- 今後、祇園山車の復活に向けて、保存会と姫城地区まちづくり協議会が一体となって活動予定

今後の課題・アドバイス等

- 一度休止しているため、中町の保存会が復活できるか不安である。
- 伝統行事であるため、子ども達にも広くこの行事を受け継ぐ必要があるため、三世代交流等で活用できないか検討の必要あり。

伝統行事「祇園山車」存続事業(上町)



取組地域：姫城地区

取組年度：令和6年度

事業主体：姫城地区まちづくり協議会

事業費：1,499,300円（基金活用額 1,499,000円）

問合せ：☎46-2603

課題・取組の概要

- 姫城地区的伝統行事である「祇園山車」は、現在、上町と中町のみとなった。
- 中町は少子化や保存会の方々の高齢化が進み活動休止中で、活動を行っているのは上町のみとなった。
- 山車の老朽化も進んでいる。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 山車が全面改修されたことで、安心して操作できるようになった。
- 山車の改修に合わせ、着物や法被も新調したことで、楽しくやる気を持って活動することができた。

今後の課題・アドバイス等

- 今後も活動が続けられるか、不安な要素もあり、見守る必要がある。
- 今後も続けてもらいたい伝統行事である。

VR ゴーグル整備事業



取組地域：山之口地区

取組年度：令和5年度

事業主体：山之口地区まちづくり協議会

事業費：411,400円（基金活用額 359,000円）

問合せ：☎57-3114

課題・取組の概要

- 人形浄瑠璃、弥五郎どん祭りなど伝統芸能をデジタル化しており、これまでに制作した映像や人形の館、弥五郎どんの館のバーチャルツアーを仮想体験できるよう、VRゴーグルを整備する。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 文化や観光案内、教育にも仮想現実空間で体験することができる。
- 将来的には、防災啓発映像も制作し、防災の仮想体験として活用する。

今後の課題・アドバイス等

- 観光案内や小中学校の教育に役立てる。

山之口弥五郎どん祭り保存伝承事業



取組地域：山之口地区

取組年度：令和5年度

事業主体：山之口弥五郎どん祭り保存会

事業費：220,000円（基金活用額 220,000円）

問合せ：☎57-3732

課題・取組の概要

- 弥五郎どんの衣装は、新調してから12年が経過し、シミなどが目立ってきていたため新調する。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 先人から大切に保存・継承されてきた伝統文化行事である。弥五郎どん祭りを新調した衣装で行った。

今後の課題・アドバイス等

- 「保存」・「継承」していくことの重要性を広く理解していただく。
- 衣装は再度新調が必要となるため、更新費用の財源確保が課題である。

山之口地区ふれあい民俗芸能祭開催事業



取組地域：山之口地区

取組年度：令和6年度

事業主体：山之口地区まちづくり協議会

事業費：1,018,600円（基金活用額 1,011,000円）

問合せ：☎57-3114

課題・取組の概要

- 数多く貴重な民俗芸能が残されているが、高齢化などにより伝統文化が途絶えようとしている。
- 後世に伝え残していくことは、非常に重要な課題である。
- 民俗芸能等を発表する場を設け、活性化の促進、継承を目的とした。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 町内各小学校で保存伝承されている民俗芸能を披露
- 山之口中学校の吹奏楽部の発表など幅広い交流を図った。
- 宮崎花ふぶき一座に出演をいただき、座長の宮田わかな様に総合司会をお願いし、民俗芸能祭を演出していただいた。

今後の課題・アドバイス等

- 今後、高齢化、後継者不足が見込まれるので、事業をどのように開催するか検討が必要である。（毎年実施・数年おきに実施等）

高城町史等書籍電子化事業



取組地域：高城地区

取組年度：令和3年度

事業主体：高城地区まちづくり協議会

事業費：743,853円（基金活用額 743,000円）

問合せ：**☎58-2317**

課題・取組の概要

- 平成元年に発刊された高城町史及び創刊から27年目となる「日和城」を、電子化して保存することにより、重要な資料を後世に伝承する。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 紙ベースの「日和城」の創刊号等は、破損や汚れがあり、適正な管理を必要としていたが、DVD等にデータを保存することで、管理が容易になり、検索機能を活用することで使いやすくなった。

今後の課題・アドバイス等

- 事業完了後にDVDを公民館や公共施設に無償で配布した。今後も多くの方々に利用してもらうために各種会合等で周知する必要がある。